

読書のすゝめ

その22

R 2 1 / 14

かのえね
庚子

西暦2020年。令和2年。そして、干支の組み合わせの37番目庚子

「かのえ・ね（こうし）」にあたります。

干支（かんし、えと）は、十干【五行の木・火・土・金・水のそれぞれの兄（え）と弟（と）】と十二支を組み合わせた60を周期とします。ですから「かのえ」とは「金」の「兄」で「か／の／え」ということになりました。そこに、十二支の子（ね）年、ネズミ年が組み合わされているのが今年なのです。みなさんが国語（現代文・古典）の副教材で使用している便覧にさらに詳しい説明と表がありますので、ぜひ、見てくださいね。

ちなみに「壬申の乱」は、大海人皇子と大友皇子の間で起きた内乱が「壬（水の兄）みずのえ）／申（さる）」の年（672年）であったということですし、王政復古を経て明治政府を樹立した薩摩藩・長州藩・土佐藩らを中核とした新政府軍と、旧幕府勢力および奥羽越列藩同盟が戦った戊辰戦争（は「戊（土の兄）つちのえ）／辰（たつ）」の年（1868年）となります。



『放課後の文章教室』 小手鞠るい 借成社



ツイッターで他人の目にとまる書き方はどうすればよいか、メールを書くときに気をつけなければならぬことは何か、読書感想文を書くのが苦手だがあらずじではだめか・・・などの、若い読者からの質問について、優しく易しい文で答えがつけられています。

—どんな職業についても、あなたは日々、何かを書くことになるでしょう。手紙やメールのほかのも、企画書、依頼書、請求書、始末書、各種お知らせなど。どんな文章を書いても、そこには、あなたという人間が現れます。たった一行であつても、たったひとことであつても。あなたの書いた文章はあなた自身、あなたそのもの、だからです。—

自分が発した言葉や自分が書いたその文章に対して責任を持たなければいけない、と解釈したのですが、みなさんはどう思われるでしょうか。ネットに垂れ流される汚い言葉や醜い表現は、相手を傷つけている言葉ではあるけれど、実は発した「自分」の内部に蓄積されて消えることは無い、とも語られています。「言霊」。言葉には霊力、引き寄せる力があります。

ビブリオバトル

1月23日（木）の放課後、図書館で今年度2回目となるビブリオバトルを開催します。バトラー（発表者）募集中！

また、ぜひ聞いてみたいと思った人は図書館に足を運んでください。

※ 年末に64冊の本が入りました。（購入希望は随時受け付けています）

